



第 82 回日本皮膚科学会東部支部学術大会

モーニングセミナー 4

日時

2018年10月7日(日)
8:00~9:00

学会 2 日目

会場

第4会場 2F 北辰の間

星野リゾート OMO7 旭川 (旧旭川グランドホテル)
〒070-0036 北海道旭川市 6 条通 9 丁目 TEL 0166-24-2111

爪疾患診療の重要性

— 爪専門外来の開設とその状況 —

座長

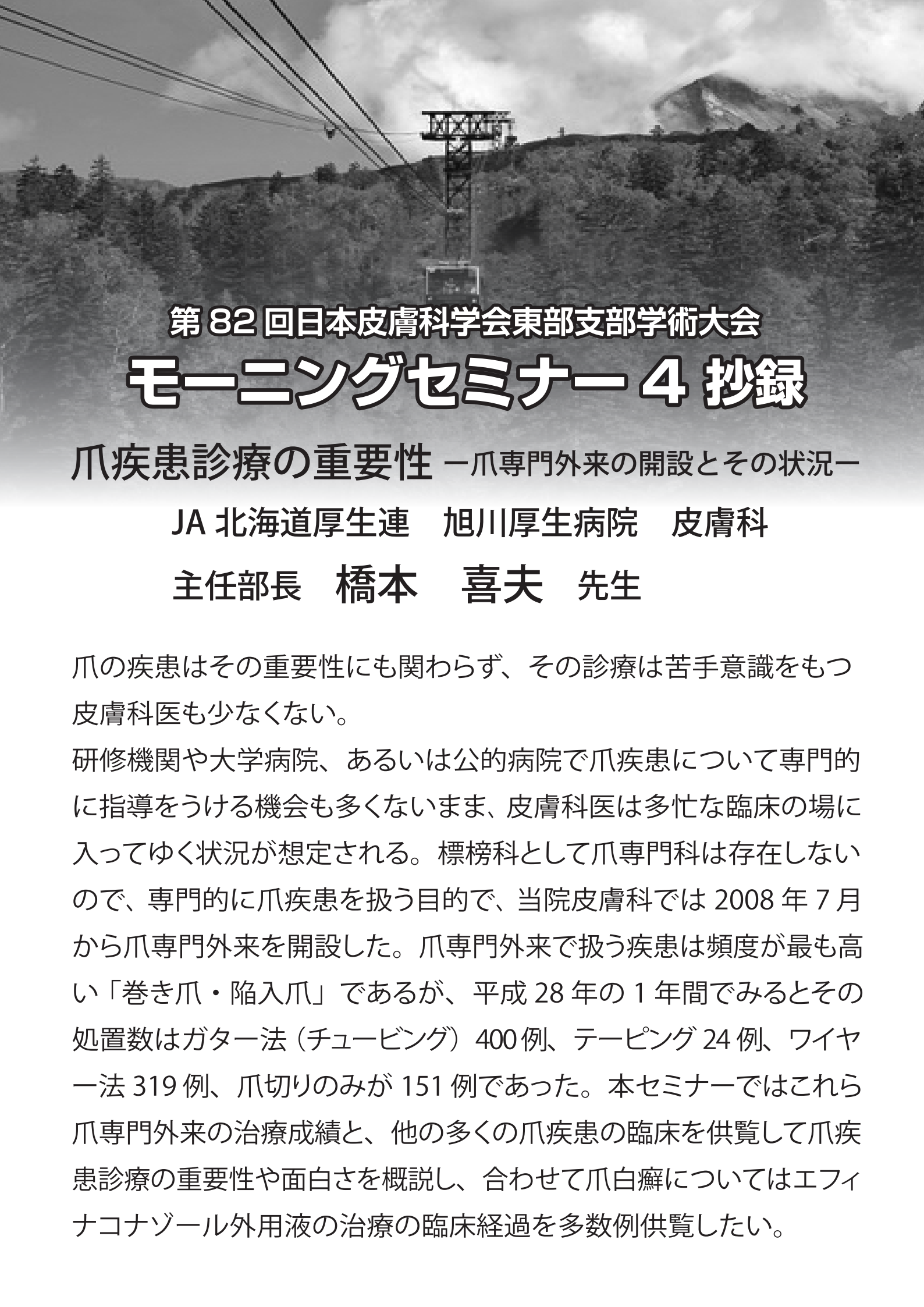
順天堂大学医学部 皮膚科学教室

主任教授 池田 志孝 先生

演者

JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 皮膚科

主任部長 橋本 喜夫 先生



第82回日本皮膚科学会東部支部学術大会 モーニングセミナー4抄録

爪疾患診療の重要性 —爪専門外来の開設とその状況—

JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 皮膚科

主任部長 橋本 喜夫 先生

爪の疾患はその重要性にも関わらず、その診療は苦手意識をもつ皮膚科医も少なくない。

研修機関や大学病院、あるいは公的病院で爪疾患について専門的に指導を受ける機会も多くないまま、皮膚科医は多忙な臨床の場に入ってゆく状況が想定される。標榜科として爪専門科は存在しないので、専門的に爪疾患を扱う目的で、当院皮膚科では2008年7月から爪専門外来を開設した。爪専門外来で扱う疾患は頻度が最も高い「巻き爪・陥入爪」であるが、平成28年の1年間でみるとその処置数はガター法（チューピング）400例、テーピング24例、ワイヤー法319例、爪切りのみが151例であった。本セミナーではこれら爪専門外来の治療成績と、他の多くの爪疾患の臨床を供覧して爪疾患診療の重要性や面白さを概説し、合わせて爪白癬についてはエフィナコナゾール外用液の治療の臨床経過を多数例供覧したい。